

この今も闘っている 医療現場のためにも。



STOP!

感染拡大

— COVID-19 —



広報連絡委員レポート №.410

野木町三丁目



広報連絡委員
松本 圭司

皆さん、野木町三丁目って何処のことだかわかりますか。その昔、野木宿内は一丁目、二丁目、三丁目と呼び分けられていました。

明治22年に今の野木町の前身である野木村が誕生しました。その時から野木村大字野木となり、それまで使われていた三丁目という名称は事実上使われなくなりました。

しかし、定期乗合バスが日光街道をまだ走っていた昭和40年にはその停留所名として三丁目という名称が使われていました。

三丁目は野木宿の一番北にあり、観音様と呼び親しまれている観音堂があります。

写真は、文化12年、今から205年前に建てられた「普門品供養塔」に刻まれている文字です。

三丁目という呼び方は今は使われていないのでしょうか。実は、今でも使われているイベント(祭り)があります。

野木神社の冬の風物詩である、

「帰社祭」でおなじみの「提灯もみ」の提灯には、三丁目の文字が書かれています。

この行事の歴史は古く、鎌倉時代初期の建仁年間に始まったと言われており、江戸時代にも盛大に行われていたようです。その名残が今につながっていて、これからも三丁目の名称は次の世代へと引き継がれてゆく事でしょう。



野木町三丁目とあつち町バス停のありかたのあす (昭和40年9月18日 7時)

一丁目	私甲さん	ちざい軒	=T目	三丁目	圧さかどう	ひのみ下	やくみ	しもじく	なかじま	ともぬま	ともぬま	てりか所
3	0	10	11	3	14	17	1	0	6	8	0	0
3	2	3	14	3	18	13	1	11	8	17	6	6

野木町三丁目とあつち町バス停のありかたのあす (昭和40年9月18日 7時)